

「新旧税理士バッジ」(船越)

平成30年3月1日近畿税理士会において「税理士証票伝達式」が執り行われ、私の長男が税理士バッジを手に入れました。私がバッジをもらったのは、長男が生まれる少し前の平成2年1月、29歳のときでした。長男は「僕は27歳やでえ。」と自慢げに言っており、まだまだ都会で働きたいらしく、いつ帰ってくるかわかりません。私が船越税理士事務所長の3代目で、長男が事務所を継いでくれると4代目の所長(社長?)となります。これは全国的に見てもあまり例がないと思われます。その時まで、もう少し?「3代目が商売潰した」と言われたいよう精進したいと考えております。

旧バッジ 新バッジ



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【一帯一路(いったいいちろ)】

中国が形成を目指す、中国とヨーロッパを結ぶ巨大な経済・外交圏構想のこと。2013年に習近平国家主席が提唱し翌年、中国で開催された「アジア太平洋経済協力首脳会議」で広くアピールされた。一帯とは陸路で中央アジアを経由してヨーロッパにつながる「シルクロード経済ベルト」、一路とは南シナ海からインド洋を通りヨーロッパへと向かう「21世紀海上シルクロード」のことである。沿線の国は約70カ国に上るとされる。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【義を貫く「上杉謙信」】

川中島の戦いなどで知られる連戦連勝の武将・上杉謙信は1530年、越後守護代・長尾為景の四男として生まれました。当時の武家では末子を僧侶にする習慣があったといわれ、謙信も幼くして禅寺に修行に出されます。7年間にも及ぶ厳しい修行に耐えた謙信ですが、家督を継いだ兄は武将には向かず反乱を画策する家臣も現れます。城に呼び戻された謙信は、反旗を翻した家臣一族を滅ぼして、その名声は高まります。その後、対立していた兄とも和解すると18歳頃に家督を相続。生涯の居城となる春日山城に入ったのでした。永遠のライバルであった武田信玄と数回にわたり戦を交えた川中島の戦いですが、その初回は謙信が23歳の頃でした。精力的に領土拡大を図っていた武田信玄に所領を追われた諸将たちが、謙信に助けを求めたことが発端だったといえます。戦乱の世にありながら領土拡大への野心は薄く、戦をするのは自陣が攻められたときと助けを求められたときだけでした。家臣たちにも「戦うのは義を貫くため」と説き、そのことが家臣たちの結束を強めていました。「心を証とせず取りはやし言成したることは、必定弱きことなり」とは「自分の心を証とせず大げさに言ったり作り上げたことでは、人の心をつつことはできない」という意味です。正義感と義侠心にあふれる謙信が残した名言です。

今を生きる
先人の言葉

若は楽の種、
楽は苦の種と知るべし

「水戸黄門」としても知られる第二代水戸藩主である徳川光圀の言葉。人生、楽ありや苦もあるさ。苦楽は表裏一体。先に苦勞をしておけば、後で楽ができるだろう。

トレンドを斬る!

価格は据え置きで内容量が減る「シュリンクフレーション」が話題を呼んでいます。中身の大きさや数量が減ったり容器ごと

小さくなったりとさまざまなシュリンク（収縮）を発見する楽しみはありますが、いつの間にかの実質的な値上げは食品から日用品にまで及んでいます。生産コストの上昇と値上げによる買い控えリスクの板挟みにある企業の苦肉の策とはいえ「高くてもやっぱり買いたい」と言わせる魅力的な商品の開発による消費者への還元に期待したいですね。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【おなかを空けば、ごはんはおいしい】

知人の家の裏庭に、ときどき野良猫の親子がやって来るそうです。親猫はガリガリに痩せており、2匹の子猫はどちらも片目がつぶれていて、おそらく病気にかかっているとのこと。知人は子猫を病院に連れて行こうか迷ったのですが、一時期でも親猫から引き離すことが良いことなのかどうか考えた末に、黙って見守ることにしました。雨の日には裏庭の物陰に3匹で寄り添い、晴れた日には陽当たりの良い場所でのんびり昼寝を楽しむ親猫の周りで、子猫たちがじゃれて遊び回っているとか。その様子を見て知人は思ったそうです。今の時代、野良猫として生きていくのも大変だろうに、親猫は親としての役目を淡々と果たし、子猫は明日のことなど知るよしもなく今に遊ぶ。どうやら小さな出来事に右往左往しているのは人間だけかもしれない・・・。



ロシアの作家チューホフは、44歳で亡くなる5カ月前に、かつての恋人リージャ・アヴィーロヴァに手紙を送りました。「ごきげんよう。なによりも、快活でいらっしゃるように。人生をあまり難しく考えてはいけません。おそらくほんとうはもっとずっと簡単なものなのでしょうから」。



チューホフが言うように、人生は自分で考えているよりもずっとシンプルなのかもしれません。そんなシンプルな人生をわざわざ複雑にしているのは、他でもない自分自身でしょう。商売で成功する秘訣（ひけつ）、幸せになる方法、ちまたにあふれる色々なノウハウは人生を豊かにする手助けのように見えて、実は自分を余計に惑わせる足かせになっている場合もあります。楽しい人生にしたければ、ノウハウを学ぶよりシンプルに生きればよいという、実に単純明快なメッセージをチューホフは残してくれました。役に立ちたい。面白そうだ。やってみたい。純粋な動機で始めたことが、いつの間にか、おなか一杯なのに「おかわり!」と叫ぶようなことになっていませんか。何事も深刻になり過ぎるのはよくありません。おなかを空けば、ごはんはおいしい。至ってシンプルな原理ですね。

トナリの

本棚



【素敵な日本人】

一流のエンターテイナーである東野圭吾の短編ミステリー9編です。四季を織り込んだ「恋愛」「家族」「動物」ものなどバラエティーに富み、鮮やかなどんでん返しに意表を突かれます。笑いあり涙ありの味わって読みたい極上の一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております ☺☺☺☺☺☺